

第 138 回古民家歴史部会・歴史探訪

「横浜散策 18 区シリーズ・第 00 回」

令和 1 年 6 月 5 日(水) 「戸塚区・小雀コース」

*集合：JR 大船駅(改札口) 9 時 50 分厳守同時出発

*解散：戸塚駅

昭和 14 年(1939 年)、鎌倉郡内の 1 町 7 か村が横浜市に編入され、戸塚区が誕生しました。その後、瀬谷区、栄区、泉区を分区しましたが、面積は 35.7 km² と横浜市でいちばん広い区です。戸塚区は、旧東海道や戸塚宿に代表される歴史があり、水や緑の豊かな自然にも恵まれています。現在は、戸塚駅周辺の再開発が進み、新しく生まれ変わろうとしています。

【参考資料】★散策コース「横浜」(昭文社) ★神奈川県謎解き散歩(新人物文庫) ★横浜地図帳・街の達人(昭文社) ★横浜・歴史の街かど(横浜開港資料館) ★戸塚区役所発行図書ほか

①燈明寺

臨済宗円覚寺派の寺。手入れの良い庭、境内全体に清々しさを感じる。晴れた日に本堂脇の駐車場から見る丹沢山塊、冬の富士山は美しい。

②五霊神社

社殿右奥の建物に 4 体の神輿が収納されている。小高いところにあるため眺めがよく、みなとみらいのランドマークタワーが望める。地元の方々が建てた従軍追憶詩碑が胸を打つ。

③小雀公園

サッカーや野球ができる運動公園、湧水を生かしたショウブ田やため池。広葉樹林のクヌギ・コナラ・エノキの間を飛び交う鳥の声が訪れた人々を楽しませる。

④定泉寺・田谷洞窟

室町時代(天文元年)の開創。本尊に厄除身代り阿弥陀如来・不動明王・弘法大師をまつる。本堂にある厄除木魚を厄年の方は年齢の数、他の方は二十二辺たたき徐厄祈願し、歓喜大黒天のお鈴を振り招福を祈願することができる。(厄除・招福) 境内は鎌倉幕府の武将和田義盛の子・朝比奈三郎義秀の館跡と伝えられ、修行大師・子安地藏尊・子授けの玉石・輪導院(朝比奈弁才天)などの諸堂がある。

定泉寺境内にある瑜伽洞、通称「田谷の洞窟」と呼ばれています。江戸時代の廃仏毀釈を逃れるために閉

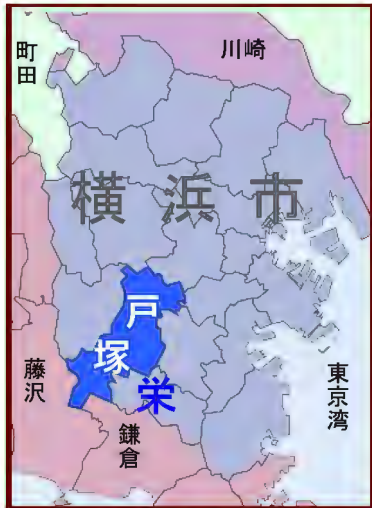
山したおかげで、今日も存在しているのです。この地下洞窟が作られ始めたのはなんと鎌倉時代。真言密教の修行として大勢の僧侶が手掘り進んでいったものなのです。全長 1 キロの洞窟のうち、一般公開されているのは約 250 メートル。

⑤金井公園

柏尾川に面した空間に広い運動広場を備え、多くの木々が施設を取り囲んでいる。

⑥柏尾川遊歩道

桜の季節には花見が楽しめる。柏尾川は柏尾町の阿久和川と平戸永谷川の合流点まで約 11km の 2 級河川。流域面積は横浜市で 2 番目に大きい。



戸塚区の位置

大船駅西口→庚申塚

9:08	23	31	39	55
10:03	13	23	47	53

西口5番乗り場

戸塚区
鎌倉古道散策



①燈明寺



②五霊神社



戸塚区の位置

横浜散策18区
本郷ふじやま公園古民家歴史部会

